

2026年12月期（2026年度） 上半期 決算説明会

artience 株式会社

証券コード：4634

決算説明会 開催日：2026年8月10日

決算説明会資料 公開日：2026年8月10日

目次

- 本日のメッセージ
- 中東情勢関連
- 2026年度 上半期 連結業績概況
- 2026年度 上半期 事業セグメント別実績概況
- 中期経営計画artience2027の進捗

(参考) 連結BS・PL概況
事業別・地域別セグメント実績
主な製品・用途

連結業績 概況

	(億円)		
	25年度上半期実績	26年度上半期実績	増減率(%)
売上高	1,687	1,897	12.4
営業利益	94	126	34.1
経常利益	86	146	69.4
親会社株主に帰属する 中間（当期）純利益	55	137	150.9
営業利益率	5.6%	6.6%	+ 1.0 (point)
海外売上高比率	54.2%	56.3%	+ 2.1 (point)

本日のメッセージ

“Growth”の推進のために

①既存事業群：パッケージ関連材料を軸とし、海外市場での拡張による高収益化。

②戦略的重点事業群：

- ・ LiB用CNT分散体 → 体制の再構築を進め、収益化を図る。
- ・ 先端エレクトロニクス → CMOSイメージセンサー用材料、半導体用材料の拡張により収益成長を加速する。

③資本効率の向上：高収益化とB/Sのスリム化により、ROE8%以上を達成する。

2026年8月10日
代表取締役社長 グループCEO 高島 悟

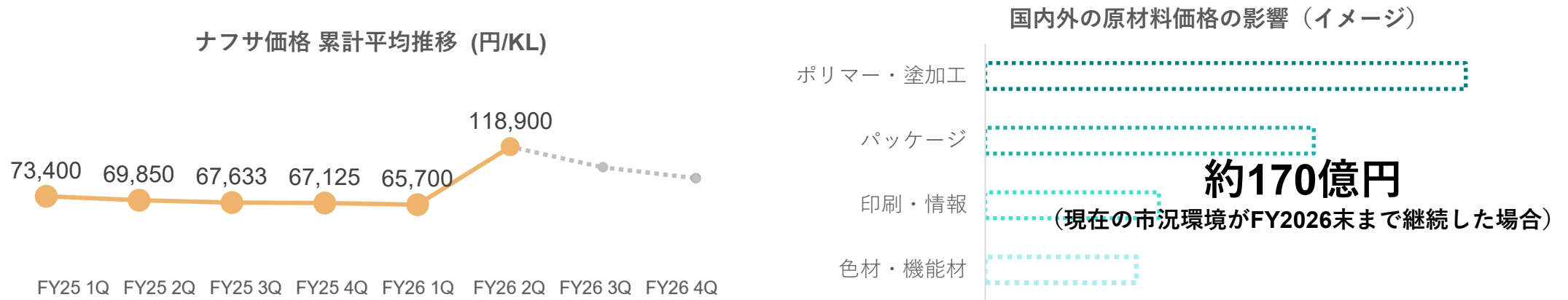


中東情勢関連

外部環境変化・原材料市況

- 3月以降緊迫した状態が続いた**中東情勢**の影響で、原材料価格が大きく高騰した。
- 調達先の多様化、サプライヤーや顧客との協働により、**安定調達**を実現し、価格改定への理解を得た。
- ナフサ価格平均は、2026年1Qの¥65,700/KLから大きく上昇し、2Qは¥118,900/KL。3Qも¥90,000/KL前後を見込む。
- 原材料価格上昇の影響額は、上期に比べ、下期に大きくなる見通し。当初の約120億円から、仕入れ商品や非ナフサ由来の原料上昇なども加味し**約170億円**と見込むが、価格改定とコストダウンにより吸収していく。

(参考情報) **ナフサ価格感応度**：1,000円/KLの上昇で、約1.5億円のコスト増。業績への影響は、状況に応じて変動。





2026年度 上半期 連結業績概況

連結業績 概況

	(億円)		
	25年度上半期実績	26年度上半期実績	増減率(%)
売上高	1,687	1,897	12.4
営業利益	94	126	34.1
経常利益	86	146	69.4
親会社株主に帰属する 中間（当期）純利益	55	137	150.9
営業利益率	5.6%	6.6%	+ 1.0 (point)
海外売上高比率	54.2%	56.3%	+ 2.1 (point)

《 為替およびナフサの実績 》

		25年度 上半期平均	26年度 上半期平均
為替	1 USD	¥ 147.5	¥ 158.6
	1 EUR	¥ 162.2	¥ 184.8
	1 RMB	¥ 20.3	¥ 23.1

		25年度 上半期平均	26年度 上半期平均
原料	ナフサ(/KL)	¥73,400	¥92,300

連結業績サマリー

■全事業セグメントで増収増益。中東情勢の影響を受け数量が増加、価格改定もあり対前年を大幅に上回る。

売上

特に海外のリキッドインキやUVインキが好調で、対前年で10%以上の数量増となった。

営業利益

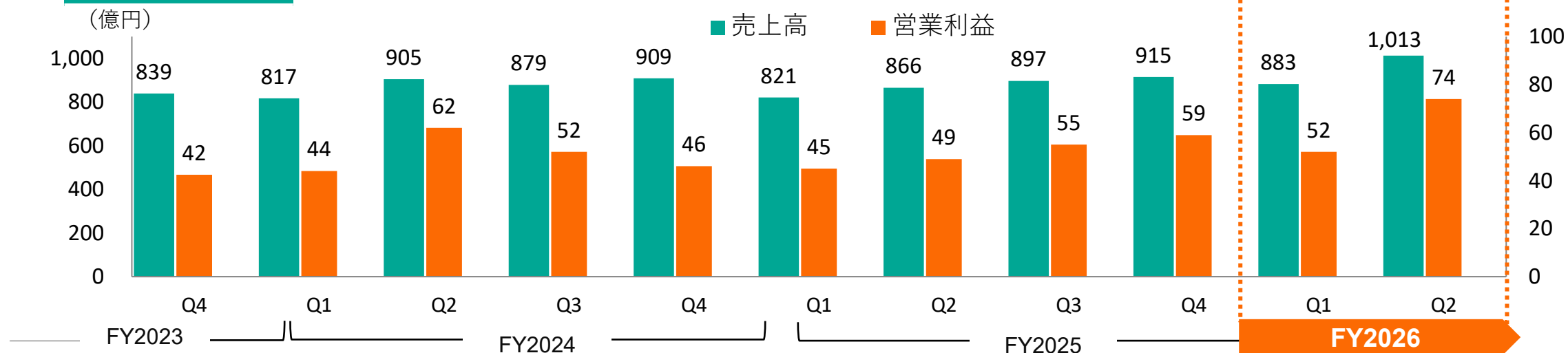
スポーツイベント需要で、大型ディスプレイ向けのCF用材料や光学用粘着剤などが堅調に推移した。リキッドインキは、中東情勢悪化後に調達を強化し、国内外で安定供給を実現した。価格改定や非ナフサ由来原料への変更を機動的に実施し増益となった。ラミネート接着剤やUVインキは海外で拡販が進んだ。

経常利益

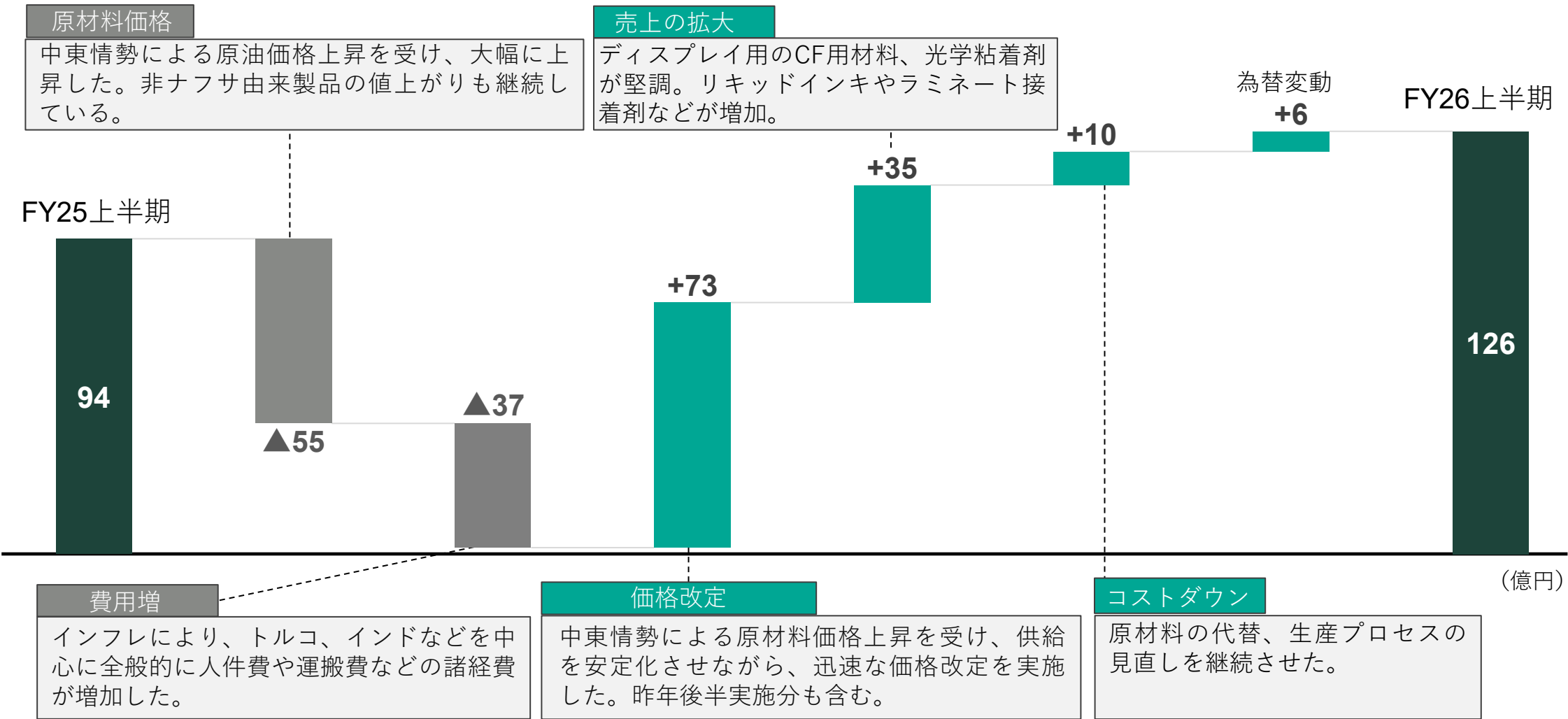
トルコの高インフレ継続による資産価値調整で、正味貨幣持高に係る利得が生じる一方、トルコリラの下落は鈍化傾向で為替差損が縮小した。

親会社株主に帰属する
中間（当期）純利益

保有株式の縮減を進め、投資有価証券売却益を51億円計上した。



営業利益の増減要因分析



2026年度 通期業績予想

■ 今後の市況動向を引き続き注視しつつ、現時点で通期業績予想および配当予想は据え置き、増収増益を見込む。
親会社株主に帰属する当期純利益には、投資有価証券売却益78億円を見込む（2026年5月15日発表）。(億円)

	25年度 実績	26年度 通期業績予想
売上高	3,500	3,600
営業利益	208	230
経常利益	209	225
親会社株主に帰属する当期純利益	103	210

営業利益率	5.9%	6.4%
ROE	3.9%	8.0%

■ 計画の前提となる指標と実績

		25年度 平均	26年度 期初前提
為替	1 USD	¥ 149.8	¥150.0
	1 EUR	¥ 169.5	¥170.0
	1 RMB	¥ 20.9	¥20.0

		25年度 平均	26年度 期初前提	26年度 6月	26年度 上半期平均
原料					
ナフサ(/KL)		¥67,125	¥65,000	¥124,000	¥92,300



2026年度 上半期
事業セグメント別実績概況

主要業界の見通しと当社事業への影響

対象業界	市況 見通し	当社 動向	用途例	市場動向	関連セグメント			
					色材・ 機能材	ポリ マー・ 塗加工	パッ ケージ	印刷・ 情報
パッケージ	 安定成長	 堅調	フィルム包装、紙器、ラベル、金属容器	国内：横ばいだが環境配慮需要は安定増。 海外：人口増に伴い新興国中心に成長。	●	●	●	●
ディスプレイ	 横ばい	 横ばい	液晶パネル（スマホ、タブレット、PC、テレビ）、偏光板	W杯需要が一服し、通年では横ばい傾向。	●	●		
先端エレクトロニクス	 高成長	 堅調	CMOSイメージセンサー、半導体	スマホ用カメラと新規用途でのセンサー重要の増加、AI時代到来による半導体需要の爆発的増加。	●	●		
モビリティ・バッテリー	 横ばい	 過渡期	EV・HEV・ESS向けリチウムイオン電池	EV市場は、欧州が補助金効果で出荷が回復傾向、米国は低迷。中国が市場を牽引。	●	●		
情報系印刷	 縮小	 横ばい	カタログ、チラシ、雑誌、書籍	デジタル化に伴う紙媒体の構造的な市場縮小の一方で、環境対応ニーズは増加。	●			●

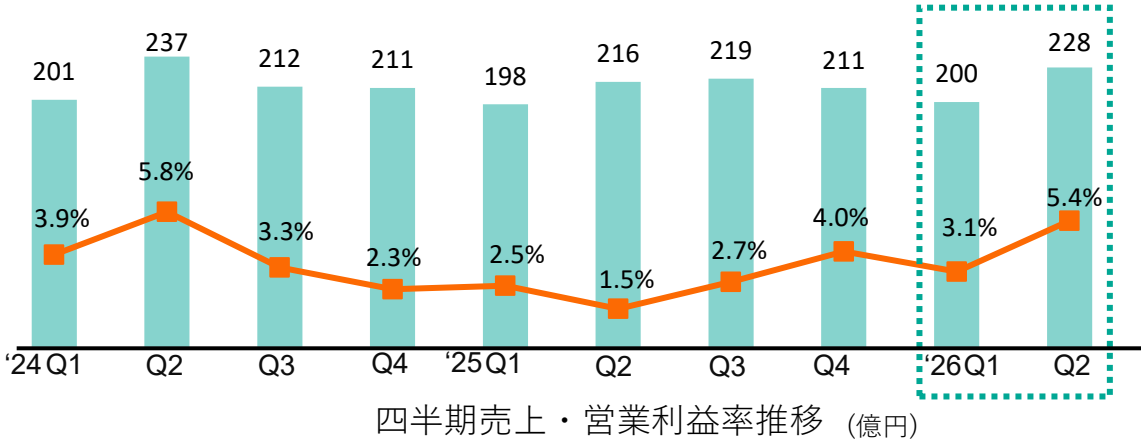
事業セグメント別実績概況

	25年度 上半期実績（億円）		26年度 上半期実績（億円）		増減率(%)	
	売上	営業利益	売上	営業利益	売上	営業利益
色材・機能材	414	8	427	19	3.3	129.6
ポリマー・塗加工	438	37	499	46	13.7	25.2
パッケージ	441	25	520	36	18.1	44.7
印刷・情報	388	21	438	24	13.0	18.3
その他・調整	7	3	12	1	-	-
連結	1,687	94	1,897	126	12.4	34.1

色材・機能材関連事業

■売上/営業利益 増収増益。CF用材料はセンサー用途含め堅調、着色剤は国内外で収益が改善。

実績	25年度 上半期 実績	26年度 上半期 実績	YonY 増減率(%)
売上	414	427	3.3
営業利益	8	19	129.6

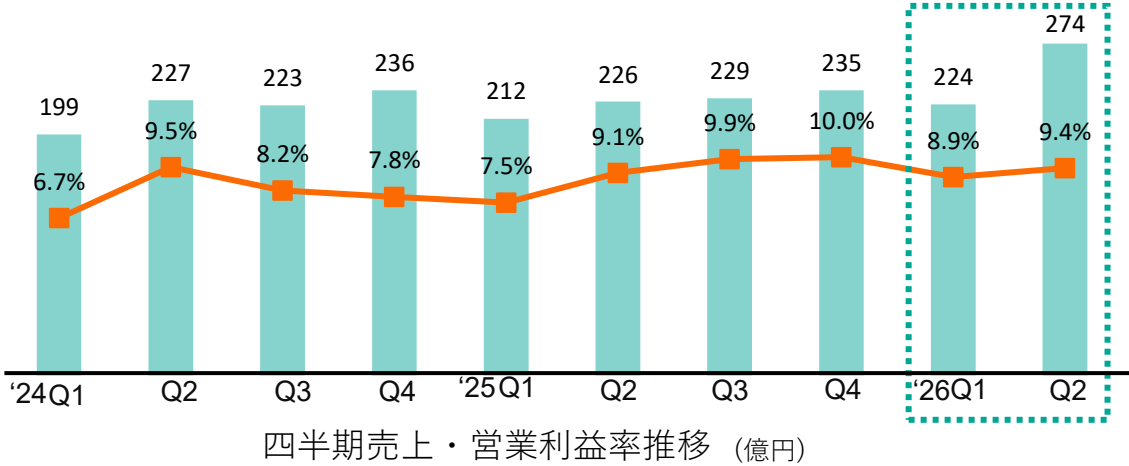


	YonY売上増減	概況
CF用材料	10.1%	上期は大型パネル向けが堅調に推移も、下期はパネルの生産調整や国内顧客の生産終了により減速の見込み。センサー用途は順調に拡販が進むも、一部メモリ不足の影響もみられた。
着色剤	▲9.2%	東南アジアは、家電や自動車向けが引き続き堅調も、中国は太陽電池用材料や日系自動車向けが低調。国内はコストダウンや価格改定、一部で開発品の実績化も貢献し、収益を確保した。
顔料	21.1%	Q2は輸入原料の上昇もあり収益悪化も、上期としては増益となった。
その他	21.6%	インクジェットは、顧客在庫調整あり6月頃より回復。LiB用CNT分散体は、欧州と中国で数量・売上が増加。米は低調。負極向けは年内に顧客での評価が終わる見通し。

ポリマー・塗加工関連事業

■売上/営業利益 増収増益。ディスプレイ用光学粘着剤が堅調、ラミネート接着剤も国内外で好調に推移。

実績	25年度 上半期 実績	26年度 上半期 実績	YonY 増減率(%)
売上	438	499	13.7
営業利益	37	46	25.2

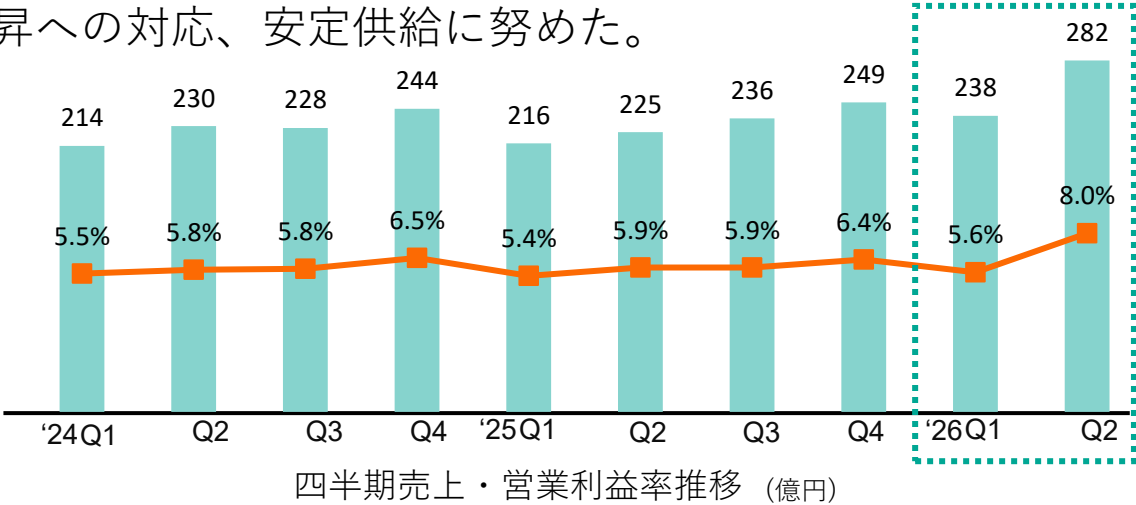


	YonY売上増減	概況
塗工材料	15.3%	モバイル向けの機能性フィルムは堅調に推移。原材料の銀の価格に高止まりに対しては、サーチャージ制の導入により影響を抑制。半導体絶縁材用のリオテラン®も実績を伸ばした。
接着剤	14.3%	粘着剤は、中国や韓国でディスプレイ向け光学用が堅調に推移。インド・グジャラートでの設備増強が完了し、7月より稼働開始。ラミネート接着剤は、タイで包装用ハイエンド向けが拡大、電池用は堅調に推移。
塗料樹脂	11.7%	製缶塗料は、国内の価格改定に若干の遅れ。タイでは、飲料缶用新規拡販が寄与、食缶も堅調に推移。トルコでは、品質トラブルにより一時的に減少も、Q3以降に回復の見通し。

パッケージ関連事業

■売上/営業利益 増収増益。原材料の確保と価格上昇への対応、安定供給に努めた。

実績	25年度 上半期 実績	26年度 上半期 実績	YonY 増減率(%)
売上	441	520	18.1
営業利益	25	36	44.7

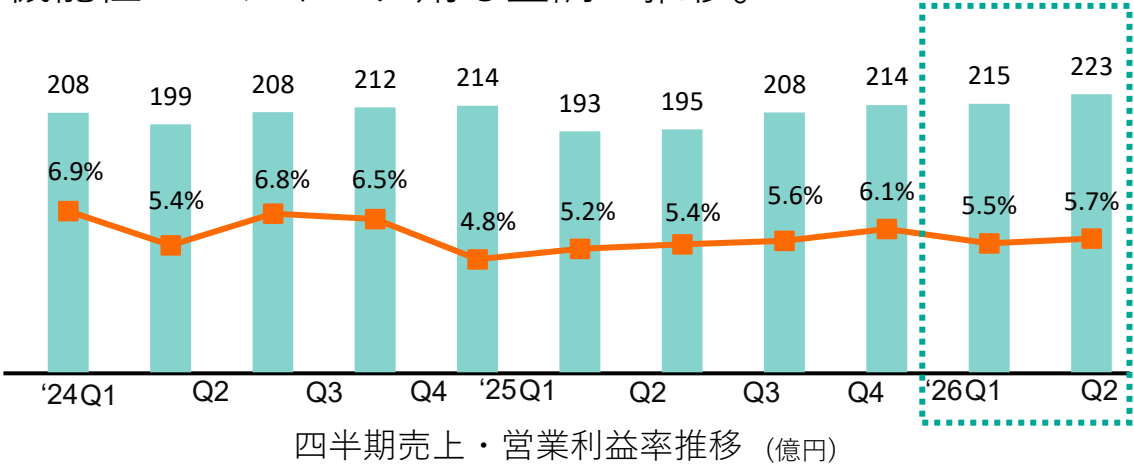


	YonY売上増減	概況
国内リキッドインキ	13.0%	食品包装用は、中東情勢を受け、グローバルな調達力を活かした原材料の確保、顧客への安定供給を継続させ、迅速な価格改定を進めた。品種統合による生産効率化、拡販及び需要の前倒しによる数量増、輸出増、ライセンス料の増もあり増益。
海外リキッドインキ	28.1%	数量が10%以上増加。中東情勢を受けた需要の前倒しも一部には見られた。マレーシア、インドで新規の商圈獲得。タイは高水準な受注状況が継続。昨年Q1が低調であったトルコは、国内や輸出で出荷堅調も、インフレによる人件費の増加があった。

印刷・情報関連事業

■売上/営業利益 増収増益。UVインキの拡販進み、機能性コーティング剤も堅調に推移。

実績	25年度 上半期 実績	26年度 上半期 実績	YonY 増減率(%)
売上	388	438	13.0
営業利益	21	24	18.3



	YonY売上増減	概況
オフセットインキ (一般インキ)	10.3%	国内は原材料の値上がりや、4月の印刷用紙の価格改定により市況が悪化。海外はタイで市況好調、インドは拡販も、原材料費や人件費の高騰で採算性が悪化。
機能性インキ※	16.3%	国内のUVインキはカード向けが好調。海外は中国でUVインキが好調、欧州で復調も減益、北米は拡販を進めた。高級紙器向けの機能性コーティング剤は堅調に推移。

※機能性インキ：UVインキ、金属インキ、スクリーンインキ



中期経営計画artience2027の進捗

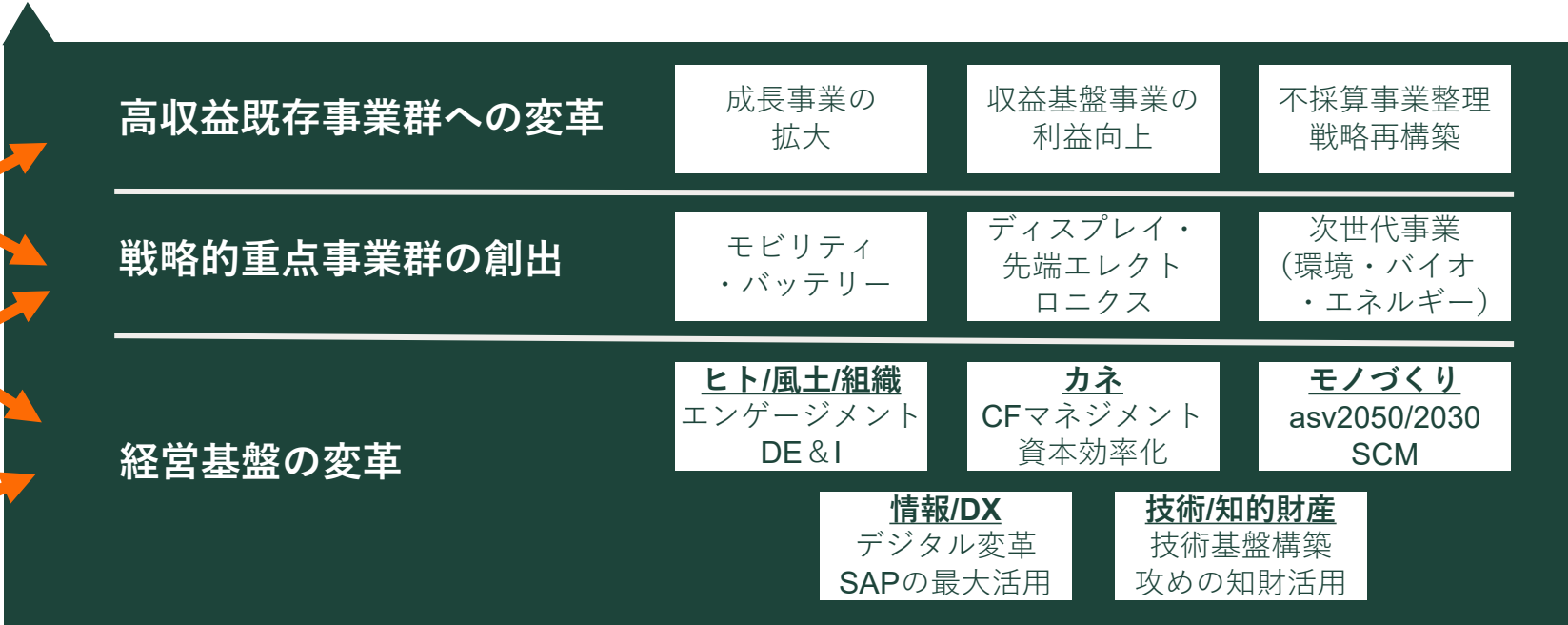
経営計画 artience2027/2030 “GROWTH”

〔目指す姿〕
心豊かな未来
持続可能な社会
企業価値最大化

	2023 12月期	2024 12月期	2025 12月期	2026 12月期	2029 12月期
売上高	3,221億円	3,511億円	3,500億円	3,600億円	5,000億円
営業利益	134億円	204億円	208億円	230億円	
営業利益率	4.2%	5.8%	5.9%	6.4 %	
ROE	4.2%	7.3%	3.9%	8.0%	10.0%以上

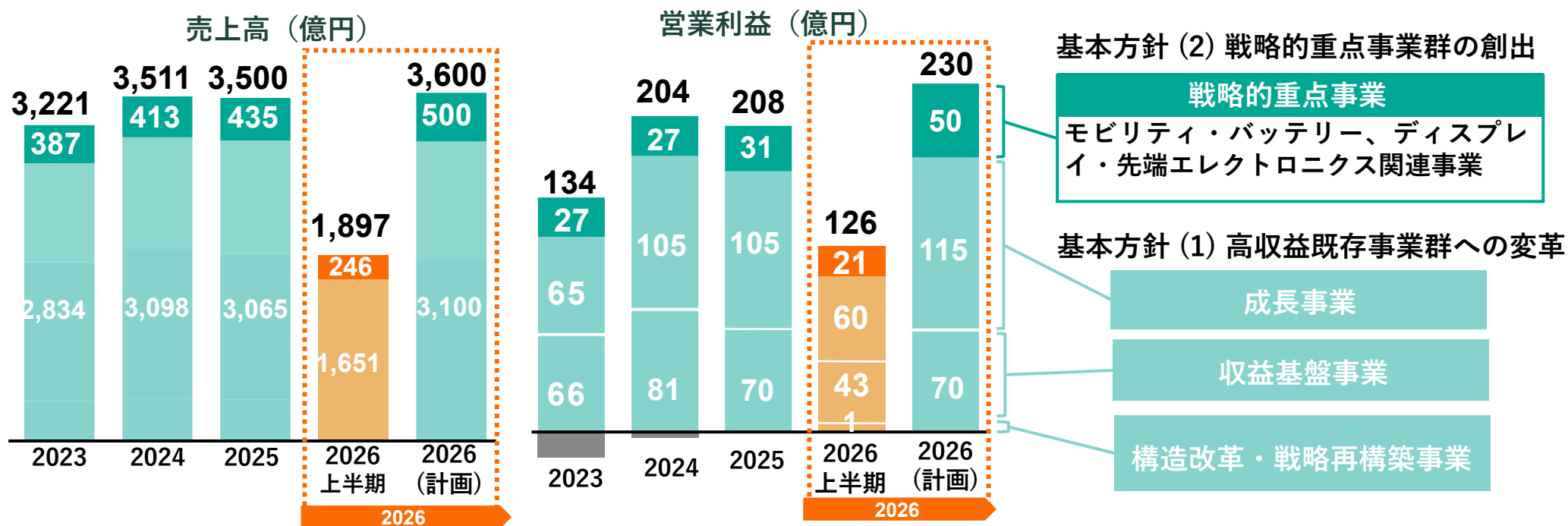
artience2027

- 事業ポートフォリオの変革
- 資本効率と
キャッシュフローの最大化
- 企業基盤構築と
サステナビリティ経営実践



artience2027/2030 “GROWTH” —2026年上半期実績と計画達成に向けた進捗—

- 高収益既存事業群の収益拡大が連結業績を牽引し、通期計画に対して順調に進捗。
- 戦略的重点事業群は、モビリティ・バッテリー関連事業の市況影響が続くものの、下期の販売拡大とディスプレイ・先端エレクトロニクス関連事業の堅調な推移により、通期着地を下支え。



※合計値はその他・調整を含む

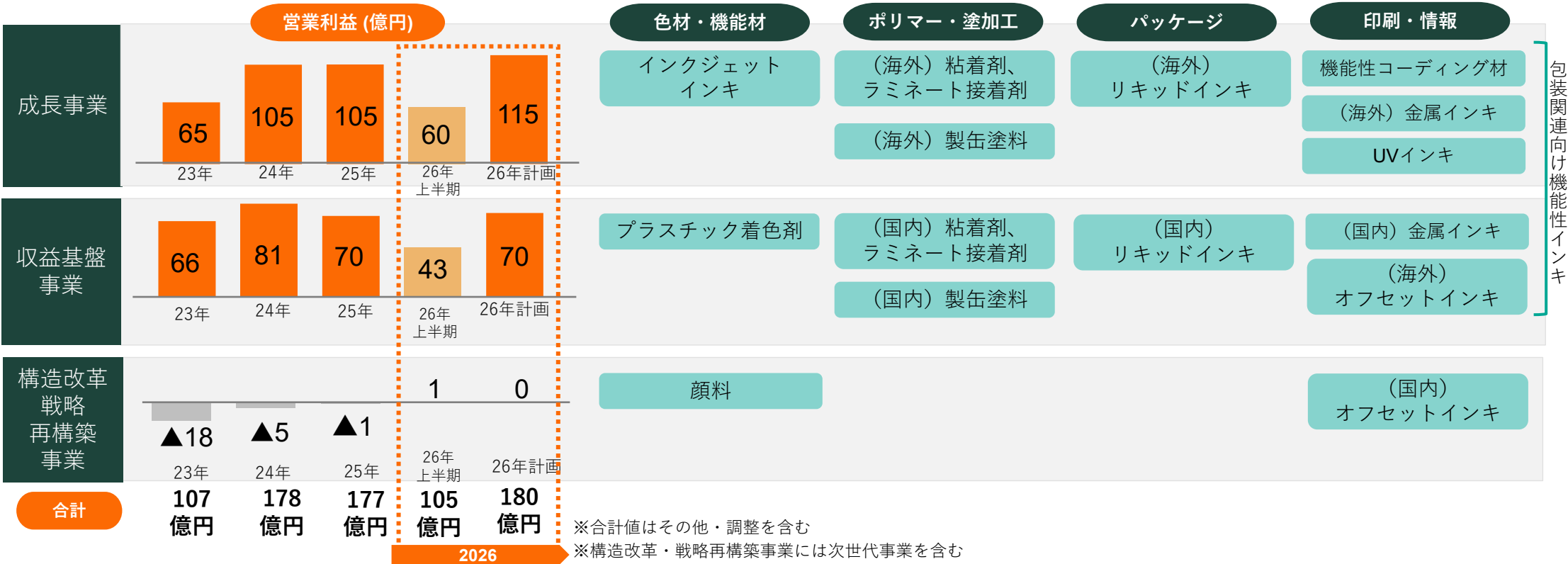


中期経営計画artience2027の進捗 基本方針（１）－（３）

26年上半期実績、今後の見通し

—成長事業の伸長、収益基盤と構造改革の強化により、26年計画に対し順調に進捗—

- 成長事業は、海外におけるリキッドインキや粘着剤、UVインキなどの高付加価値品が利益を牽引。
- 収益基盤事業は、中東情勢をはじめとする外部環境変化に柔軟に対応しつつコスト改善を進め、国内での収益性を着実に向上。
- 構造改革・戦略再構築事業は、事業構造や採算性の見直しが奏功し、FY2026上半期で黒字化（1億円）を達成。



26年計画達成に向けた取り組み、今後の見通し

—戦略的重点事業群は、事業環境変化を踏まえつつ、各事業で着実に進展—

- モビリティ・バッテリー関連は、EV市況の低迷を受ける一方、拠点別戦略やESS向け展開を進め、売上高と数量は下期にかけて増加。
- ディ스플레이関連は、W杯需要でCF材料と光学用粘着剤が伸長し、上期業績を牽引。また、パネル生産の中国シフトに伴い、現地の供給体制を強化。
- 先端エレクトロニクス関連は、AI・半導体需要を背景に光半導体（CMOSイメージセンサー）用材料が伸長。データセンター等で利用される低誘電樹脂や、絶縁性・柔軟性にすぐれた機能性フィルム（リオテラン®）が半導体絶縁材料として実績化。



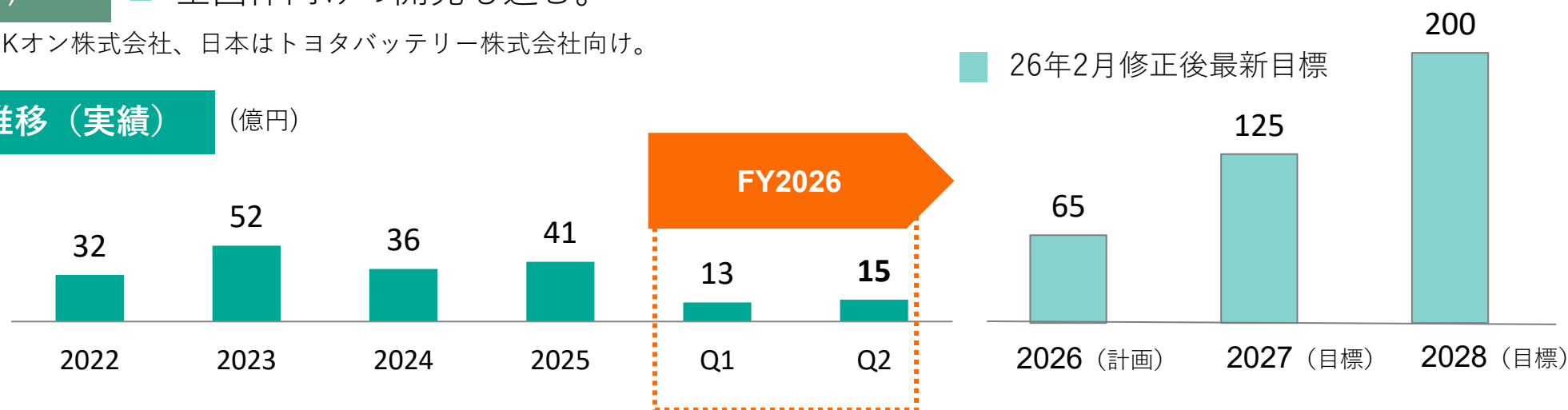
モビリティ・バッテリー関連事業：LiB用CNT分散体

■ 拠点別概況と今後の見通し：中国大手向けで数量が増加、欧州で堅調も計画は下回る見込み。

 欧州 (ハンガリー)	- 顧客数2。数量/売上は引き続き前年を上回り堅調も、Q3以降は顧客で調整の可能性。 2社目向け製品の現地生産開始時期は、若干伸びてQ3を見込む。
 米国 (GA州,KY州)	- 顧客数2*。数量、売上共に前年を下回る。 - ESS向けの評価は継続中。
 中国 (珠海)	- 顧客数1。Q2に入り、Q1比で1.5倍の数量増加となった。 - 負極向け材料は顧客での評価が継続中。27年後半からの量産化を目指す。
 日本 (富士)	- 顧客数1*。HEV向けのCNT分散体は順調に出荷が継続している。 - 全固体向けの開発も進む。

* 米国はSKオン株式会社、日本はトヨタバッテリー株式会社向け。

売上推移（実績）（億円）



ディスプレイ向け材料は中国シフトを捉え収益拡大

CF
材
料

ペースト拡販と中国でのレジストインキ現地生産により収益の安定化を目指す。

■ビジネスモデルの転換

- 中国：ローカルメーカー台頭に対応し中国企業とJV設立。従来の台湾からのレジスト輸出を中国現地生産へ転換（25年末から生産開始、27年Q2に生産移管完了予定）。ペーストは日本から販売。
- 台湾：国内市場に特化しレジストインキを伸長。

■利益の最大化

製品販売（ペースト、レジストインキ）＋技術供与（ロイヤリティ）＋配当

光
学
用
粘
着
剤

韓国から中国への市場シフトに拠点連携で対応、生産能力増強と開発力強化で成長加速。

■日韓中の拠点連携と中国の現地生産能力増強

- 日韓中の拠点で緊密に連携し、開発・マーケ・生産体制を構築。
- 需要急増のため江門に生産設備新設を決定（27年稼働予定）。

■ニーズを捉えた開発力

- 車載向け高耐熱付加価値品を展開。
- OLED向け粘着剤を拡大。

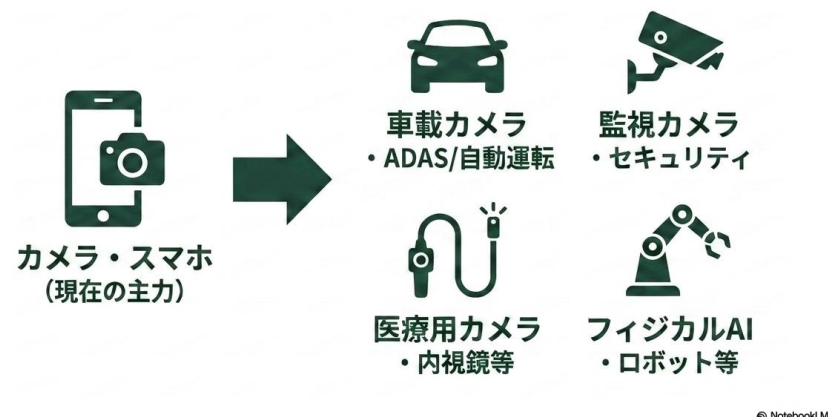


光半導体用材料事業の展開（CMOSイメージセンサー（CIS）用カラーレジストインキ）

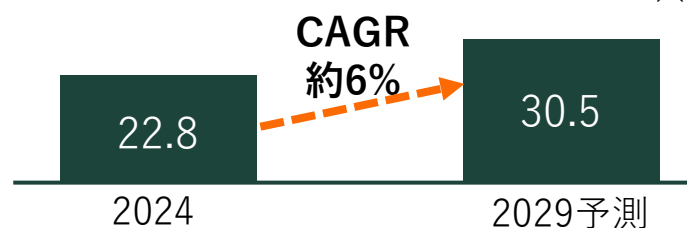
- 伸長するCIS市場に対し、LCD用カラーレジストインキで培ったナノレベル分散技術や色材設計技術を応用し事業拡大。
- スマホ市場の成長に伴い中国系CISメーカー向けを中心に実績を拡大し、29年に24年比で売上2.5倍を目指す。

CISの市場動向

- CISの用途は拡大。スマホは高画素化、車載は多眼化が進む。

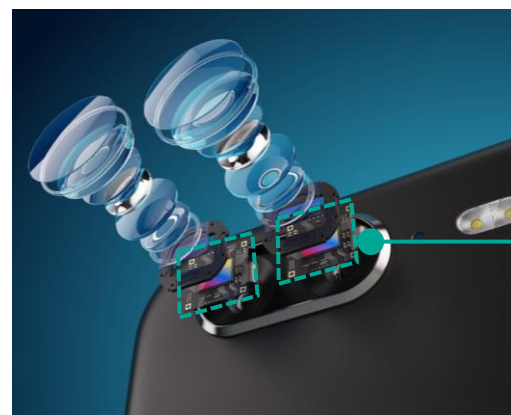


- CIS世界市場の予測（USD Billion, 金額ベース）
※当社推定



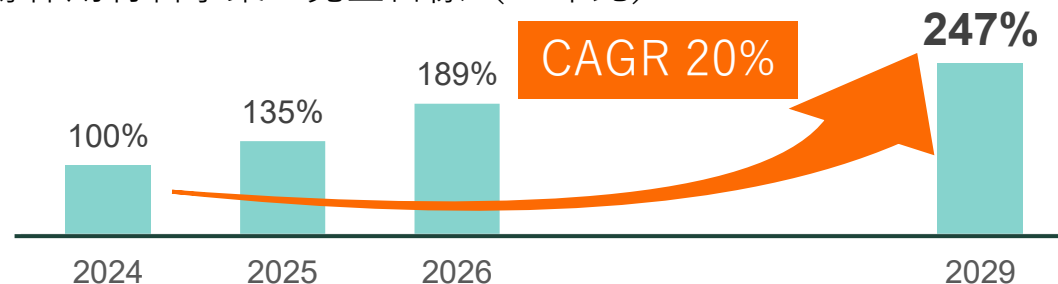
当社の事業展開

- 強み：ナノレベルの顔料分散技術、色材からレジストまでの一貫生産、薄膜化/多波長への対応技術。



当社はCISのシリコンウエハ上に製膜するカラーレジストインキを提供

- 光半導体用材料事業の売上目標（24年比）



ESGに関する取り組み

E

サステナビリティビジョンasv2050/2030達成に向けて

- 国内外複数拠点において再生エネルギー由来電力の導入や太陽光発電設備を追加導入、環境価値の取得。
（24年以降の新規／追加実施拠点：ベルギー、インド（計画）、ハンガリー、天津、上海、江門、富士、守山、千葉、東洋モートン、ブラジル他）。
- 脱炭素に向けた施策 ロードマップの策定カバー率向上（グローバル）。
（23年60%⇒24年88%⇒25年97%（CO2排出量ベース）。
- CDPのスコアがBへ昇格（気候変動分野／水セキュリティ分野）。

S

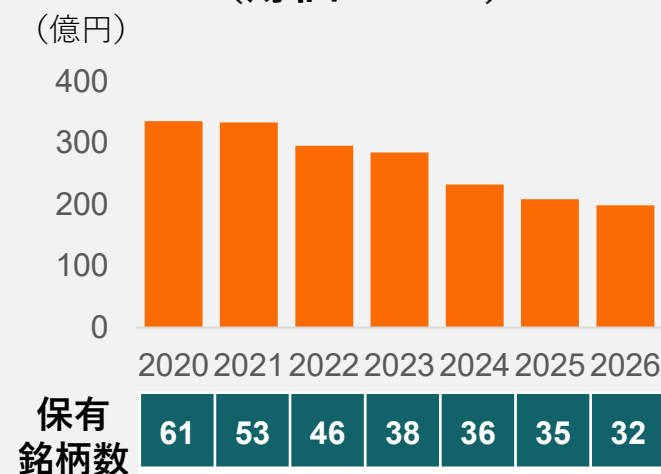
エンゲージメント向上、DE&I実現に向けた施策の推進

- 第三者機関によるサーベイを**3年連続**で実施し、課題点を改善、スコア向上。
- 外国籍人材の開発・MK・管理部門での採用拡大。
- 新卒女性採用比率の向上(前年41.2%→**2026/4月時点 54.2%**)。
- 理念浸透とGROWTHへの意識向上のため、CEOが国内外で座談会を継続開催。

G

資本効率性向上や株価を意識した経営への取り組み

- 自己株式の消却^{※1}、自己株式取得^{※2}、保有株式削減の継続。
- ガバナンス体制の強化、ROEを重視した経営、ROIC指標の導入。
- 社内取締役報酬の業績連動比率を向上し、指標にROE基準を追加（25年3月～）。
- SR・IR活動を強化。

■ 上場株式保有額の推移
（簿価ベース）※1：2024年5月末、2025年5月末実施、**2026年8月末(300万株)** 予定※2：累計約**200億円**を実施（24年8月13日～26年2月末）

設備投資計画の進捗

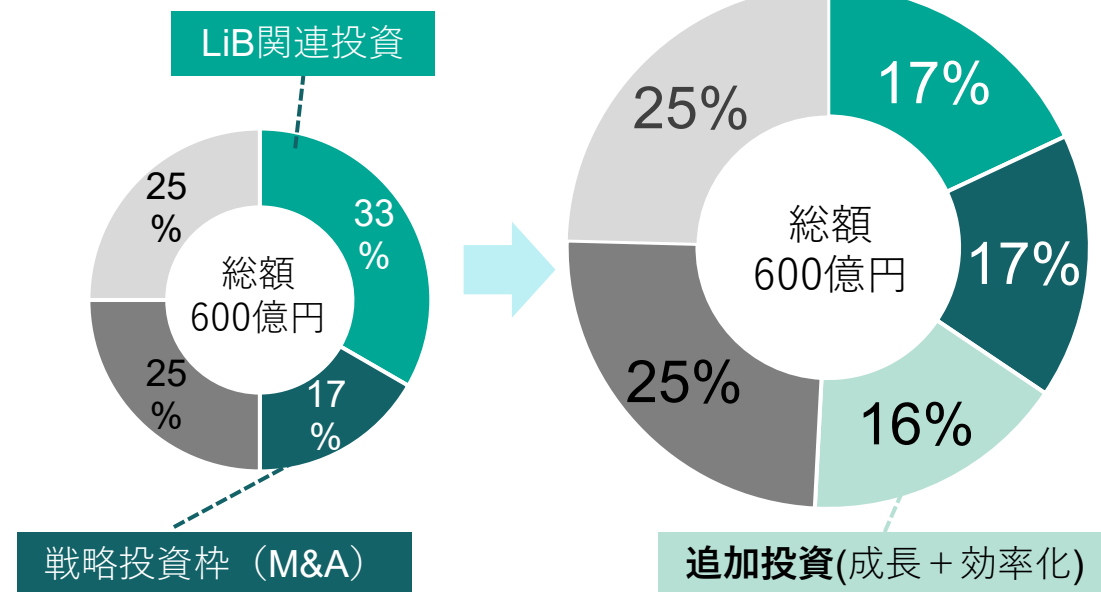
- 3年間総額600億円の設備投資を計画。LiB関連投資は市況鈍化に伴い、大幅に減額。100億円とした戦略投資枠でM&Aを検討中。成長投資と効率化投資を拡大。

中期経営計画3年間総額 設備投資計画の配分

■ 戦略的重点事業群 ■ 高収益既存事業群 ■ 国内外拠点の基盤強化

【2025年2月見直し後】

【2026年2月見直し後】



3年間の 設備投資計画・減価償却費（億円）

	2024年度 (実績)	2025年度 (実績)	2026年度 (計画)
設備投資	184	164	179
減価償却費	121	133	130

※設備投資：実績は検収ベース、計画は発注ベース

■ 主要な設備投資

LiB用CNT分散体向け

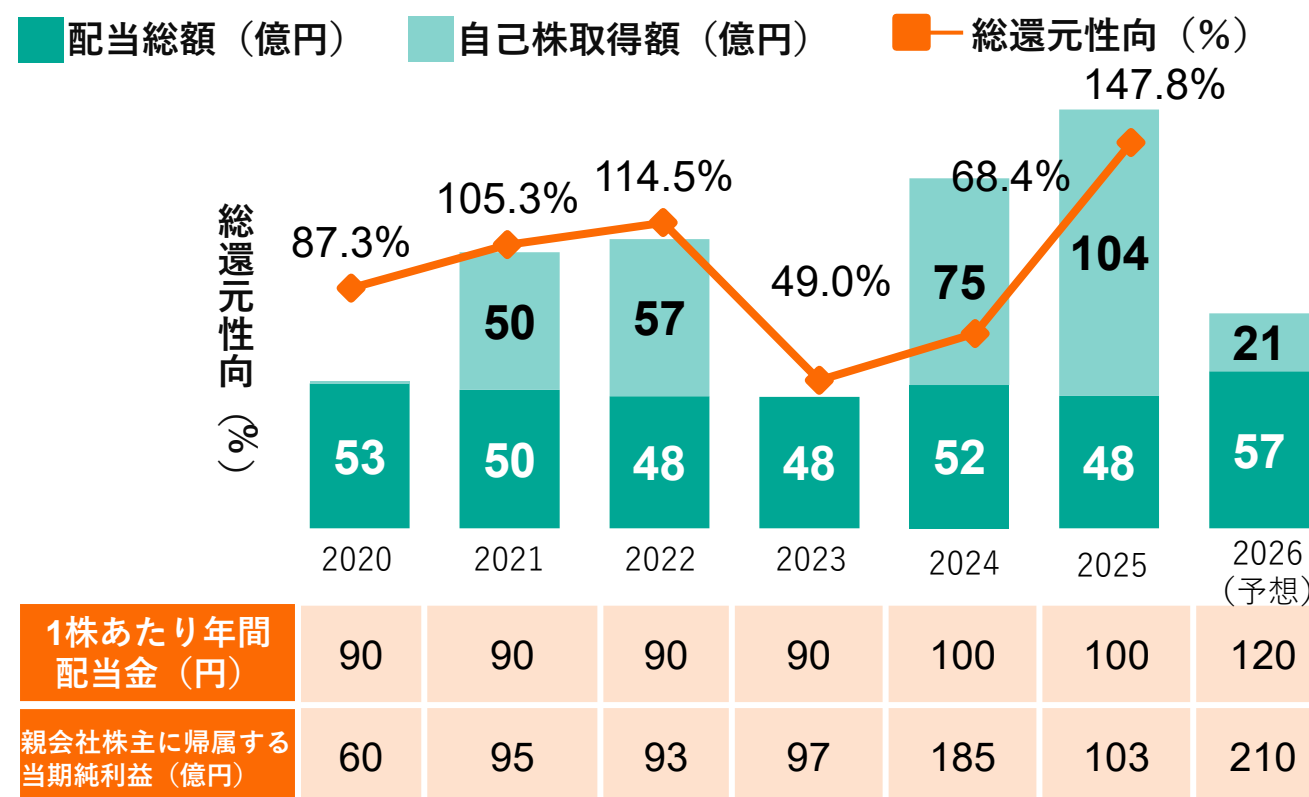
- ◆ 2025年度：71億円→19億円へ減額
- ◆ 2026年度：30億円（3年計110億円見込み）

粘着剤(印)→2026年7月第2拠点稼働
 リキッドインキ・ラミ接（土）→2025年4月稼働
 リキッドインキ(印、日)→2028年稼働
 粘着剤(中)→2027年稼働（太字は2025年決定）

中期経営計画artience2027 株主還元方針

- 利益成長を背景に、増配および自己株式取得の実施により株主還元を一層強化。

- 安定配当を基本としつつ、利益達成時のキャッシュの余剰を戦略投資および自社株取得等の株主還元増へ充当する
- 総還元性向50%以上とする



本日のメッセージ

“Growth”の推進のために

①既存事業群：パッケージ関連材料を軸とし、海外市場での拡張による高収益化。

②戦略的重点事業群：

- ・ LiB用CNT分散体 → 体制の再構築を進め、収益化を図る。
- ・ 先端エレクトロニクス → CMOSイメージセンサー用材料、半導体用材料の拡張により収益成長を加速する。

③資本効率の向上：高収益化とB/Sのスリム化により、ROE8%以上を達成する。

2026年8月10日
代表取締役社長 グループCEO 高島 悟

■ IRに関するご質問・お問い合わせ先 ir@artiencegroup.com

■ ウェブサイト <https://www.artiencegroup.com>

■ 主要ニュースリリース

- 見えない光で発電する無色透明な太陽電池を開発（2026年8月4日）
<https://www.artiencegroup.com/ja/news/2026/26080401.html>
- ESG投資インデックス「MSCI日本株ESGセレクト・リーダーズ指数」および「MSCI日本株女性活躍指数（WIN）」構成銘柄に継続選定（2026年7月21日）
<https://www.artiencegroup.com/ja/news/2026/26072101.html>
- ESG投資インデックス「FTSE JPX Blossom Japan Index」および「FTSE JPX Blossom Japan Sector Relative Index」構成銘柄に継続選定（2026年7月6日）
<https://www.artiencegroup.com/ja/news/2026/26070601.html>
- 東洋インキの剥離リサイクル技術が採用されたつめかえパックが「ワールドスターコンテスト 2026」で「ワールドスター賞」を受賞（2026年6月29日）
<https://www.artiencegroup.com/ja/news/2026/26062901.html>

■ IRスケジュール（予定） ※都合により予告なく変更する場合がございます

- FY2026Q3：決算発表（11月13日）、決算説明会（11月20日）



参考資料

ROE・資本効率向上への取り組み

- 収益改善および資本効率向上への取り組みを通じて、**2026年ROE8.0%の達成**を目指し、株主資本コスト（約8%）を上回る水準の実現によりPBR向上を図る。

事業ポートフォリオ変革

- ・ 高収益既存事業群の収益力強化。
- ・ 戦略的重点事業群は、ディスプレイ(光学用粘着剤)と先端エレは堅調も、一部の事業領域で伸び悩みがみられる。

資本効率の向上

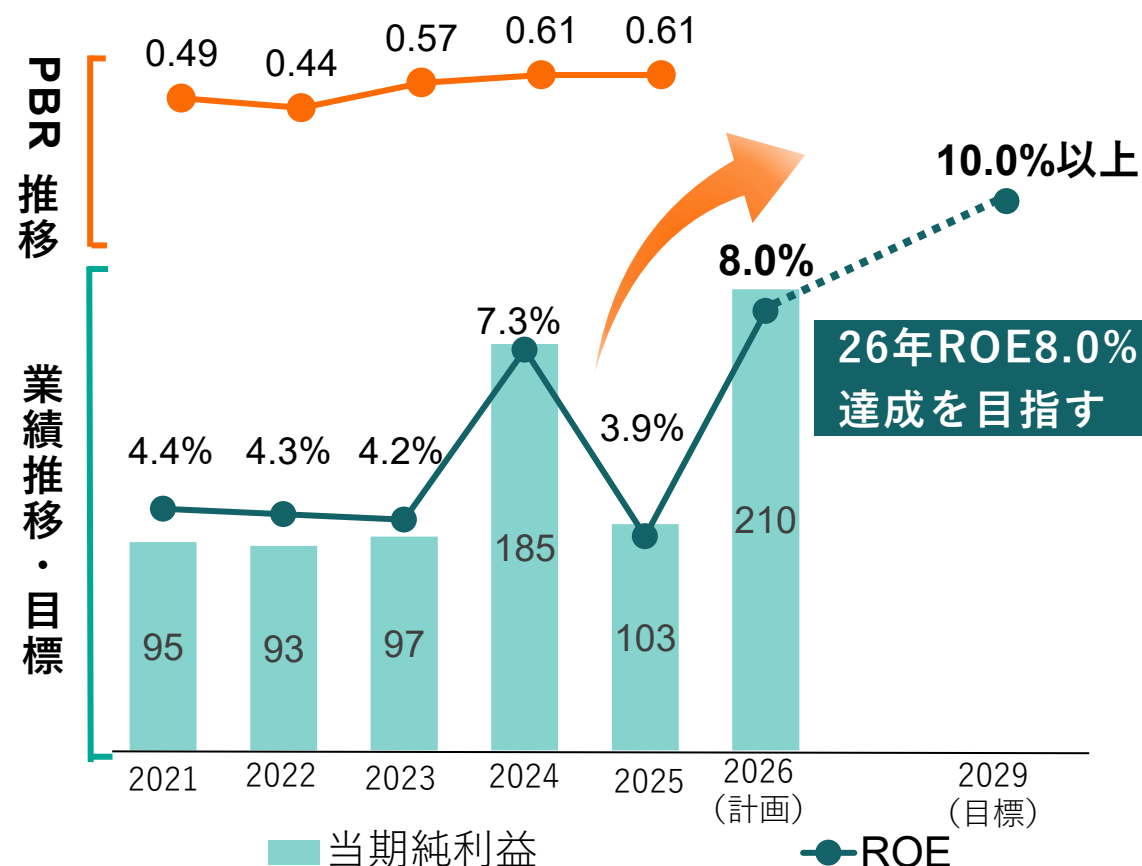
- ・ ROIC指標の全社導入を通じ、資本効率の改善が進む。
- ・ 24年以降、CCC改善に向けた取り組みを継続。25年は111日⇒112日と横ばい水準で推移

資本政策

- ・ 総還元性向に基づく株主還元の充実（24年8月以降、自己株式取得 累計約200億円を実施）。26年は**前期比20円増配**を見込む。
- ・ 保有株式等の縮減（24年:95億円、25年:46億円、**26年上半期:71億円**）。
- ・ 自己株式の消却（24年5月末、25年5月末、**26年8月末**に実施）。

資本コスト低減の取り組み

- ・ 適時適切な情報開示、積極的な情報発信などIR活動の強化、ステークホルダーとの対話強化。



キャッシュアロケーションの進捗と実行状況（2024－2026年中計、2年半経過時点）

■ 3年中計の2年半経過時点において、キャッシュ創出と株主還元ともに概ね計画通りのペースで着実に進捗。

● 3か年中計比 72%

安定的なキャッシュ創出により、概ね計画通りに推移。

● 107%

累計実績：213億円

【資本配分の進捗と実行（億円）】
Cash inflow 1,100～ Cash outflow 1,100～



● 63%

事業環境の変化を踏まえ、LiB関連投資を成長投資へ再配分。

戦略投資は、投資案件を精査中。

● 89%

株主還元：357億円 *2
● 中計3年間：400億円～

*2 2024～2025年度実績、2026年度自己株式取得（21億円）および2026年度予想年間配当額を含む。

*1投資有価証券売却益は除く。

連結PL・BS概況

	(単位：億円)			
	2025年12月期 上半期	2026年12月期 上半期	増減率(%)	2026年12月期 通期予想
売上高	1,687	1,897	12.4	3,600
営業利益	94	126	34.1	230
経常利益	86	146	69.4	225
親会社株主に帰属する 当期純利益	55	137	150.9	210

営業利益率	5.6%	6.6%	+ 1.0 (point)	6.4%
海外売上高比率	54.2%	56.3%	+ 2.1 (point)	

	2025年 12月末	2026年 6月末
有利子負債(億円)	667	648
自己資本比率(%)	57.5	58.7
D/Eレシオ	0.32	0.29

2026年 12月期	中間	期末 (予想)
配当 (円/株)	60	60

	(単位：億円)		
	2025年 12月末	2026年 6月末	増減率(%)
流動資産	2,277	2,412	5.9
固定資産	2,349	2,368	0.8
資産合計	4,626	4,780	3.3

流動負債	1,061	1,119	5.5
固定負債	793	737	▲7.0
負債合計	1,854	1,856	0.1

純資産合計	2,772	2,924	5.5
負債純資産合計	4,626	4,780	3.3

	2025年12月末	2026年6月末
連結子会社数	56	56
持分法適用会社数	5	5

事業別セグメント実績

		2026年12月期 第2四半期（3か月） 実績（億円）		増減率 前年同期比較（％）		増減率 2026年12月期 第1四半期比較（％）		当期累計実績 （億円）		増減率 前年同期比較（％）	
		売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益
色材・機能材	日本	111	6	8.1	137.4	12.9	11.5	210	11	8.8	989.7
	海外	169	8	6.4	117.6	16.8	965.2	314	8	3.7	115.8
	合計	228	12	5.5	289.9	14.1	96.9	427	19	3.3	129.6
ポリマー・塗加工	日本	161	9	13.2	47.6	16.2	35.8	299	16	9.0	78.2
	海外	145	16	28.4	14.3	18.7	3.2	267	32	20.5	15.7
	合計	274	26	21.2	24.8	22.2	28.7	499	46	13.7	25.2
パッケージ	日本	144	16	19.3	170.0	21.9	107.5	263	23	10.8	97.8
	海外	147	7	35.1	▲ 2.1	17.6	30.1	272	13	27.7	▲ 1.7
	合計	282	23	25.6	70.8	18.7	69.6	520	36	18.1	44.7
印刷・情報	日本	105	4	3.6	6.0	2.6	▲ 17.9	206	10	6.0	46.7
	海外	135	9	22.4	34.4	3.0	40.7	265	15	18.6	10.0
	合計	223	13	14.6	20.0	3.6	7.5	438	24	13.0	18.3
その他		20	0	43.7	▲ 71.6	17.7	▲ 29.8	37	1	39.4	▲ 75.7
調整		▲ 14	▲ 0	-	-	-	-	▲ 24	0	-	▲ 86.1
連結		1,013	74	17.0	50.6	14.7	41.8	1,897	126	12.4	34.1

（注）事業セグメントの日本・海外の実績には地域間消去を考慮していません。

事業別セグメント実績（四半期推移）

（単位：億円）

		FY2024				FY2025								FY2026			
		Q3		Q4		Q1		Q2		Q3		Q4		Q1		Q2	
		売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益
色材・機能材	日本	99	0	114	5	90	▲ 1	103	2	92	0	110	5	99	5	111	6
	海外	156	4	157	4	144	0	159	4	162	2	155	8	145	1	169	8
	合計	212	7	211	5	198	5	216	3	219	6	211	9	200	6	228	12
ポリマー・塗加工	日本	143	7	145	4	133	3	142	6	138	7	139	5	139	7	161	9
	海外	117	12	120	13	109	13	113	14	122	16	126	18	122	16	145	16
	合計	223	18	236	18	212	16	226	21	229	23	235	24	224	20	274	26
パッケージ	日本	122	5	126	9	116	6	121	6	122	7	124	8	118	8	144	16
	海外	111	8	124	7	104	6	109	7	120	7	131	8	125	6	147	7
	合計	228	13	244	16	216	12	225	13	236	14	249	16	238	13	282	23
印刷・情報	日本	99	4	107	4	94	3	101	4	101	5	111	7	102	5	105	4
	海外	131	11	119	6	114	7	110	7	123	7	119	6	131	6	135	9
	合計	212	14	214	10	193	10	195	11	208	12	214	13	215	12	223	13
その他		14	▲ 0	16	▲ 3	12	2	14	1	14	1	17	▲ 1	17	0	20	0
調整		▲ 11	0	▲ 11	▲ 0	▲ 10	0	▲ 9	0	▲ 9	▲ 0	▲ 10	▲ 1	▲ 11	0	▲ 14	▲ 0
連結		879	52	909	46	821	45	866	49	897	55	915	59	883	52	1,013	74

（注）事業セグメントの日本・海外の実績には地域間消去を考慮していません。

所在地別セグメント実績

当期実績	2026年度 第2四半期（3か月） 実績(億円)		増減率 前年同期比較(%)		増減率 2026年12月期 第1四半期比較(%)		当期累計実績(億円)		増減率 前年同期比較(%)	
	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益
日本	538	35	12.0	77.2	13.9	37.6	1,010	60	9.3	91.1
アジア	434	38	22.8	47.6	18.5	30.2	800	68	15.0	37.4
ヨーロッパ	94	▲ 3	18.5	-	3.6	-	185	▲ 8	26.7	-
北米・南米	69	6	20.4	60.0	5.5	40.6	135	10	15.0	29.3
調整	▲ 122	▲ 2	-	-	-	-	▲ 234	▲ 4	-	-

連結	1,013	74	17.0	50.6	14.7	41.8	1,897	126	12.4	34.1
----	-------	----	------	------	------	------	-------	-----	------	------

(参考) 昨年度実績(億円)	第1四半期		第2四半期		第3四半期		第4四半期		合計	
	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益
日本	444	12	480	20	467	20	501	23	1,892	75
アジア	343	23	353	26	378	28	370	31	1,444	108
ヨーロッパ	67	▲1	80	3	86	0	100	3	333	5
北米・中南米	60	4	57	4	61	3	59	6	237	16
調整	▲91	6	▲105	▲3	▲96	3	▲ 114	▲ 4	▲ 406	3

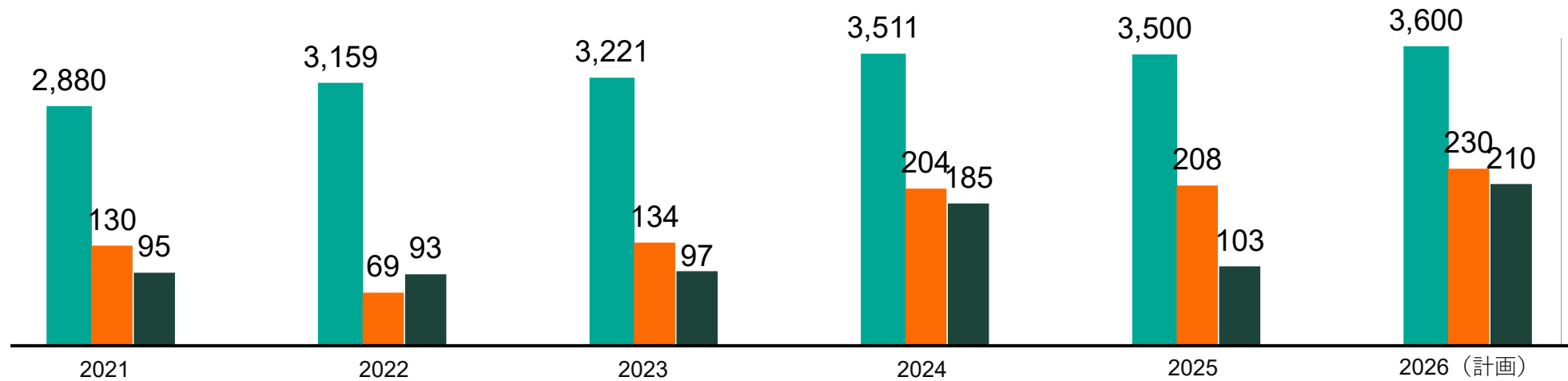
連結	821	45	866	49	897	55	915	59	3,500	208
----	-----	----	-----	----	-----	----	-----	----	-------	-----

（注）各所在地の金額は、地域間の取引および全社的な費用を控除していません。

業績

(億円)

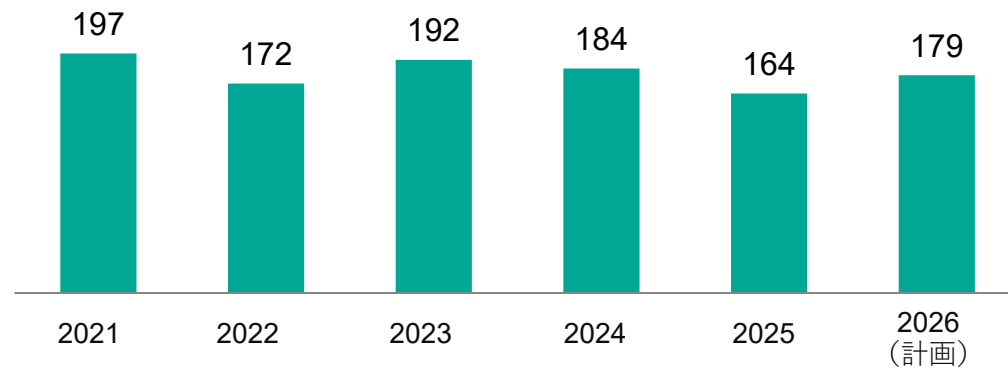
売上 営業利益 親会社株主に帰属する当期純利益



設備投資

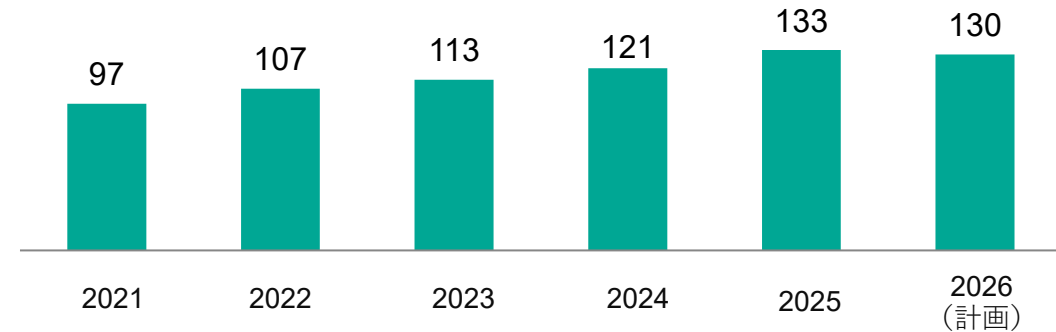
(億円)

※設備投資：実績は検収ベース、計画は発注ベース



減価償却

(億円)



色材・機能材 サブセグメント

サブセグメント		主な製品	主な用途	
CF材料	高機能化成品	高機能顔料	CFペースト	
		CFペースト	レジストインキ	
	表示材料	レジストインキ	ディスプレイ、センサー	
汎用化成品		顔料、顔料分散体	印刷インキ、自動車塗料	
プラスチック着色剤		マスターバッチ コンパウンド	容器、自動車、家電OA、建材	
その他		インクジェットインキ	看板広告・ラベル・段ボール	
		電池用分散体	リチウムイオン電池	

ポリマー・塗加工 サブセグメント

サブセグメント	主な製品	主な用途	
塗工材料	接着テープ、機能性フィルム	スマートフォン	
	マーキングフィルム	看板	
接着剤	粘着剤	ラベル、ディスプレイ、自動車、工業材	
	ラミネート接着剤	フィルム包材、リチウムイオン電池、太陽電池	
	ホットメルト	製本、PETボトル胴巻きラベル	
塗料樹脂	製缶塗料	飲料缶、食缶	
	樹脂、ハードコート	印刷インキ、建築塗料、ディスプレイ	
その他	メディカル	貼付型医薬品	
	天然材料	飼料、食品	

パッケージ、印刷・情報 サブセグメント

	サブセグメント	主な製品	主な用途	
パ ッ ケ ー ジ	リキッドインキ	グラビアインキ、 フレキソインキ	フィルム包材（食品パッケージ、 日用品詰め替え） 建材 サニタリー、段ボール、紙袋	
	グラビア機器・製版	グラビア機器、製版		
印 刷 ・ 情 報	オフセットインキ （一般インキ）	オフセットインキ、 新聞インキ	書籍、新聞、チラシ、紙器	
	機能性インキ	UVインキ 金属インキ スクリーンインキ	紙器、ラベル、カード、書籍 飲料缶、食缶 エレクトロニクス、ステッカー	
	印刷材料・機器	オフセット印刷材料、 印刷検査装置		

注意事項

当社グループによる開示情報には、業績予想や将来予測に関する情報が含まれる場合があります。これらの情報は、開示時点で入手可能な情報および合理的であると当社グループが判断する一定の前提に基づくものであり、さまざまなリスク要因や不確実な要素により、実際の結果と異なる可能性があります。

当社グループによる開示情報は、ステークホルダーに当社グループへの理解を深めていただくための情報提供を目的としており、投資勧誘を目的とするものではありません。当社グループによる開示情報に関連して発生した金銭的あるいは非金銭的な損害に対しては、当社グループは一切の責任を負いかねますのでご了承ください。

表記の金額は億円未満について四捨五入しております。